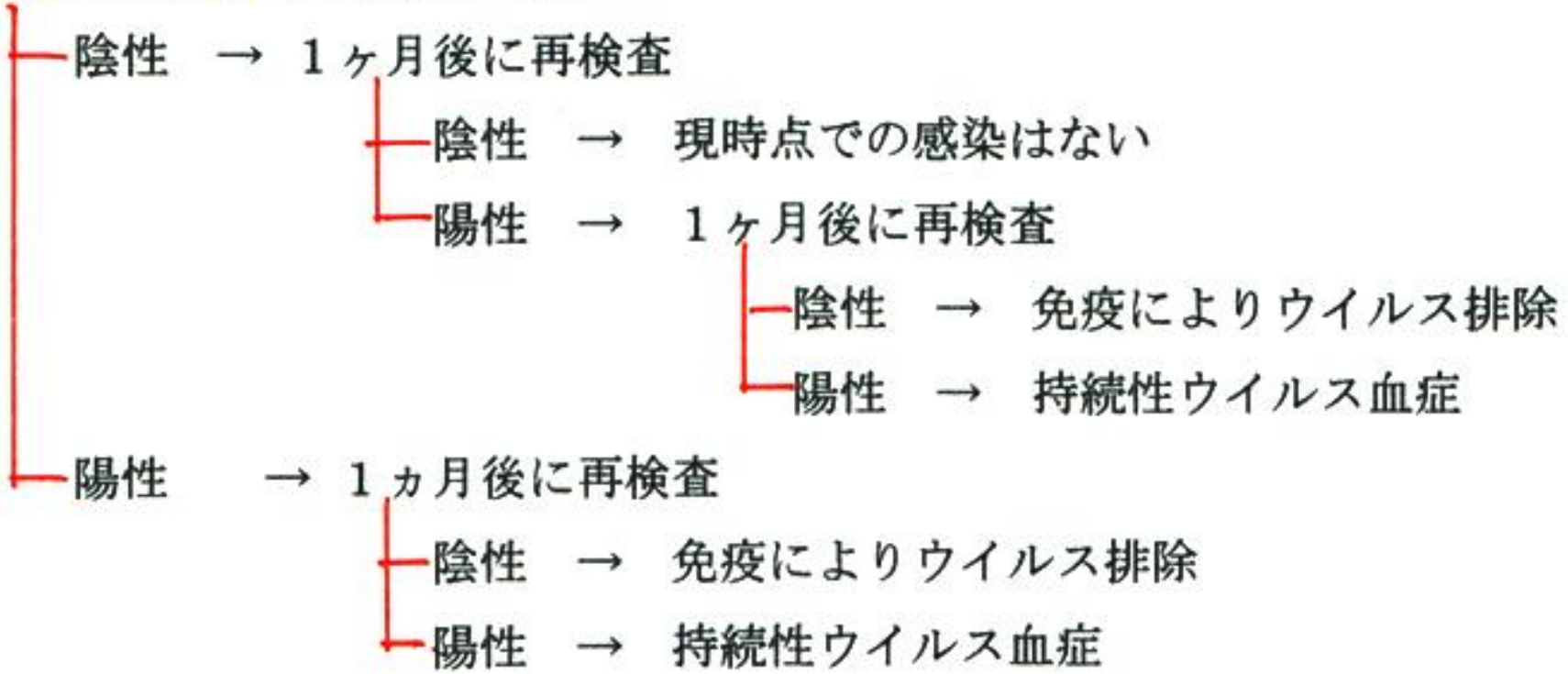


# 猫白血病ウイルス感染症について

- 貧血、下痢、発熱、口内炎、リンパ節の腫れなどがみられ、一度発病すると完治することなく、致死率が非常に高い伝染病です。
- **感染初期・潜伏感染などの場合、血液検査で陰性となる可能性があるため1か月後に再検査が必要**です。
- **唾液やケンカ傷から、または母子感染によって感染**します。
- 感染後数か月間に、自分の免疫でウイルスが排除されないと**持続感染**となります。
- **持続感染した場合、多くの猫が3～4年の間に発症し死亡**します。

# ウイルス検査のながれ ~ 6ヶ月齢以下の仔猫~

## ◆生後6ヶ月齢以下の仔猫の場合



# ウイルス検査のながれ ～成猫～

## ◆成猫の場合

\* 持続性ウイルス血症＝ウイルスキャリアー

完全室内飼育で、2ヶ月以上他の猫と接触がない

- 陰性 → 現時点での感染はない
- 陽性 → 持続性ウイルス血症の可能性が高い

2ヶ月以内に他の猫と接触した可能性がある

- 陰性 → 1ヶ月後に再検査
  - 陰性 → 現時点での感染はない
  - 陽性 → 1ヶ月後に再検査
    - 陰性 → 免疫によりウイルス排除
    - 陽性 → 4ヶ月後に再検査
      - 陰性 → 免疫によりウイルス排除
      - 陽性 → 持続性ウイルス血症
- 陽性 → 1ヵ月後に再検査
  - 陰性 → 免疫によりウイルス排除
  - 陽性 → 4ヶ月後に再検査
    - 陰性 → 免疫によりウイルス排除
    - 陽性 → 持続性ウイルス血症